

SKY コーナー

「関西ブロック SKYフォーラム2020」開催

～「きっちり工事運動」の向上を目指して～

情報通信エンジニアリング協会 関西支部

はじめに

2020年9月24日、関西支部による「関西ブロックSKYフォーラム2020」がITEA西日本事務所（大阪市）を主会場とし、大会初のリモートで開催されました。本フォーラムは会員各社が日常業務の中で安全性・効率性を目指し積極的に実施している「SKY運動」の成果を発表し、啓発・水平展開を図ることを目的としております。

開催にあたり、情報通信エンジニアリング協会 遠竹関西支部長（写真1）より、「例年ですと集合形式で開催でしたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止ということで、初めてリモート開催ということになりました。本日は関西圏通建5社とNTTフィールドテクノ関西支店様の活動発表が6テーマございます。発表を通じまして皆さんと一緒に安全とKAIZENの思いを共有したいと思います。

この「SKY活動」は、昭和58年6月に大阪での死亡事故を教訓に、昭和63年に第1回目のSKYフォーラムを開催しております。もともと安全対策や、職場の環境改善、コスト削減をテーマに、毎年各社が活動の成果を発表して、それを啓発し水平展開する場になっています。安全は日々繰り返し基本動作を徹底することが一番大事だと思います。全員のチーム力でこの安全をしっかり推進していき、事故の撲滅ということを皆さんと一緒に成し遂げていきたいと思っています。KAIZEN活動はボトムアップをする最大の活動だと思います。ボトムアップで活動していただいた成果をベースにコミュニケーションの活性化につながっていけばと思っています。」との挨拶がありました。

続いてNTT西日本 関西事業本部 篠浦設備部長様（写真2：リモート接続）より「今年で32回目となるこの関西ブロックSKY

フォーラムにお招きいただきまして誠にありがとうございます。また、リモート開催という新しい形を取り入れられて開催されることに対して、心よりお慶び申し上げます。

2020年度も上期が終わろうとしています。皆様もご承知のとおり、4月7日に発出されました7都府県への緊急事態宣言以降、新型コロナウイルス感染症対策ということで新たな働き方やライフスタイル等、大きな変化が起こっています。そのような中、我々指定公共機関の責務を果たすためにさまざまな場面で、さまざまな対応が求められているかと思っております。また一方では自然災害の大規模化ということも挙げられるかと思っております。今年度は7月の豪雨災害や、9月に発生した台風9号および10号による大きな被害が起こっており、現在も復旧作業中でございます。

こういった大規模化していく自然災害への対応にもさまざまな取り組みが必要という認識でございます。コロナへの対応や自然災害への対応など、これまで通信建設会社各社の皆様にもさまざまなご苦労をおかけしていると思いますので、その点につきましても改めて御礼申し上げますと共に、今後も引き続き、ご理解とご協力を賜りたいと思っております。そしてこのような対応の基本となるのは、社員の健康と安全でございます。今年度は残念ながら多くの人身



写真1 ITEA 関西支部
遠竹支部長 開会挨拶



写真2 NTT西日本 関西事業本部
篠浦設備部長様 来賓ご挨拶

事故が発生しており、東日本エリアを含めましてすでに28件もの人身事故が発生しております。これは過去にないほどのハイペースであり、先般、北海道では交通死亡事故も発生しております。中央労働災害防止協会様の講演を聞いたことがありますが、安全は何より優先であり、安全に言い訳なしと言われておりま

す。我々もこういった強い気持ちを持ってさまざまな対策を行っていきと共に、安全を先取りするような職場風土を作りあげていきたいと思っております。

本日は安全をはじめとして、各種KAIZEN等に関する取組みの発表をお聞かせいただけるということで、ぜひ拝聴いたしまして、今後の

参考にさせていただきたいと思いません。

最後になりますが、本フォーラムを通じまして情報通信エンジニアリング協会様、また通信建設会社各社様の益々の発展を祈念いたします。」とのご挨拶をいただいた後、本フォーラムが開会されました。

SKY表彰式

表1 2019年度各社別評価件数 (単位: ポイント)

ミライト・テクノロジーズ	協和エクシオ	日本電通	ミライト	日本コムシス	合計
18.4	6.4	2.1	4.1	4.1	35.1

【算出方法】※①および②の合計ポイント
 ① 2019年4月から2020年3月末までの提案件数
 ② 2020年8月末(今回)までのNTT西日本様による回答・評価ポイント

上記の新たな評価基準に基づき、年間最も評価ポイントを獲得した会社に対して「年間提案優良会社表彰」を行いました。集計結果により、評価件数が18.4ポイント(①提案件数: 14件、②回答・評価: 4.4ポイント)の(株)ミライト・テクノロジーズが表彰され遠竹支部長より感謝状と記念品が授与されました(表1・写真3)。



写真3 SKY表彰
(株)ミライト・テクノロジーズ HRD本部

安全表彰式

当支部安全パトロールにおいて、安全の鉄則を遵守するとともに、安全に対する取組活動が他の模範となり、極めて優れているとして日本電通(株)協力会社の共栄テレコム 前川 洋次班に遠竹支部長より表彰状と記念品が授与されました(写真4)。



写真4 安全表彰
共栄テレコム(株) 前川 洋次班

SKY発表会

各社でのSKY活動として最も優秀であったものについて、1テーマ選出し発表を行うとともに、NTT西日本グループ様代表としてNTTフィールドテクノ 関西支店様からも発表を行っていただきました(写真5~8・表2)。

NTTフィールドテクノ 関西支店様の発表内容は、『安全パトロールの運用見直し』というテーマで発表されました。テーマ選定は、NTTと通信建設会社の安全マニュアルの



写真5 司会
(株)ミライト・テクノロジーズ 齋藤 綾音氏



写真6 発表会模様1

違いによる安全基準の相違および安全パトロール実施者における安全作業の判断基準に相違があり整合性を図る必要があるため、取組みを開始されました。

対策の実施内容は、安全推進室が主管となり、エンジニアリング部門・通信建設会社と連携し、安全パトロールの運用方法、チェック項目

の基準を制定しました。本施策の実施により、NTT・通信建設会社に関係なく、同じレベルで指導できるしくみとなりました。また作業従事者においても安全作業に対する考え方の違いがなくなり、同じ目線でチェックが可能となりました。今回、AC系・宅内系・所内系工事の目線合わせを行ったことから、今後

の課題としては、基盤系への目線合わせを行っていくとの内容でした。

その他の発表につきましても、各種工具等の開発・改良など素晴らしい内容で、施策の水平展開や今後の積極的なSKY活動への刺激にもなりました。

表2 発表テーマ一覧

発表テーマ	発表会社名	発表者
★ 『通線機 繰出部ストッパーの開発』	日本コムシス 株式会社	城山 裕希
★ 『モバイルプロジェクター活用による安全意識向上を目指した取り組み』	日本電通 株式会社	大北 将吾
★ 『「バッテリー回転治具」の考案について』	株式会社 協和エクシオ	樹田 知也
★ 『Winactorを利用した「ボイスKY」点検業務の効率化』	株式会社 ミライト・テクノロジーズ	門田 容子
★ 『切替工事の作業品質向上に向けた取り組み』	株式会社 ミライト	中筋 恵将
★ 『安全パトロールの運用見直し』	株式会社 NTTフィールドテクノ 関西支店	松永 健一



写真7 発表模様2



写真8 株式会社NTTフィールドテクノ様 発表模様



写真9 遠竹支部長と発表者の皆様

おわりに

発表終了後、遠竹支部長より発表各社の代表者に記念品が贈呈され(写真9)、日本コムシス(株) 城山裕希リーダーの発声で関西支部の安全スローガン「まず安全 工夫を活かそう 知恵と技 ヨシ!!」を全員で唱和(写真10)した後、主催者を代表してITEA山下常務理事より「本日は関西ブロックのSKYフォーラム2020が初のライブ開催ということで、皆様のご尽力によって無事開催されましたこと厚く御礼申し上げます。

本大会は優良活動の発表ということでご発表いただきました通信建設会社各社、NTTフィールドテクノの皆様は、それぞれ創意工夫した取り組みであり、どれも現場に役立つものばかりでした。フィールドテクノ様と通信建設会社で取り組んでいた安全パトロールの標準化につ

いては、現場作業の指導が統一化されるだけでなく、重大事故防止という観点で効果的な指導につながっていくということで素晴らしい取り組みだと思います。少し事故の話をしませんが、先日8月末に大阪労働局が発表した大阪府における死亡事故の状況によりますと、今年に入って増加傾向が続いています。私たち通信建設会社の作業現場では、作業前KYの確実な実施や危険ポイントの見える化など、危険感度を上げる気づきを促すことが大事だと思います。これからも引き続き現場作業での安全作業をお願いしたいと思います。

最後に本日のSKYフォーラムに参加された皆様、そして協力会社の皆様がこの場を通じて安全を再確認し、事故根絶につながると共に、小集団活動によるKAIZEN活動を継続、発展していくことを祈念致します。」との挨拶があり閉会しました(写真11)。

今回の大会は、リモート接続により約140カ所からの参加で無事終了することができました(表3)。

視聴者アンケートでは、今回のリモート開催に対し「自分のタイミングで閲覧でき効率的であった。」「事例発表において、聞き逃しや不明があった際に再確認できて良かった。」との多くのコメントをいただきました。また「映像乱れ、音声少し途切れた。」とのご意見もいただいておりますので、今後の新たなスタイル開催に向けての検討をしていくことといたします。

本大会に大変お忙しい中ご臨席くださいましたご来賓・NTTグループの皆様に感謝申し上げますとともに、大会の諸準備、運営にご協力いただきました関係各位に対して心から厚く御礼申し上げます。



写真10 スローガン唱和
日本コムシス(株)
城山 裕希氏



写真11 ITEA 山下常務理事の閉会挨拶

表3 大会概要

大会日時	2020年9月24日 9:30~11:45	
開催場所	ITEA西日本事務所(大阪市) <各拠点リモート接続>	
参加者 (リモート接続)	・NTTグループ各社様 ・通建各社(グループ会社含む)	約140カ所